

WHO ファクトシート

家族計画・避妊

Family planning / contraception

2018年2月

重要な事実

- ・開発途上国で妊娠を避けたいと思っている2億1400万人の妊娠可能年齢女性が、近代的な避妊法を使っていない。
- ・家族計画の方法の中には、コンドームのように、HIVや他の性感染症を防ぐことに役立つものがある。
- ・家族計画・避妊は、中絶、とりわけ危険な中絶の必要性を減少させる。
- ・家族計画は、子どもの数や出産間隔を自己決定できるという人々の権利を強化する。
- ・意図しない妊娠を防ぐことによって、家族計画・避妊は母子の死亡を予防する。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Family planning /contraception

ファクトシート原文は [こちら](#)